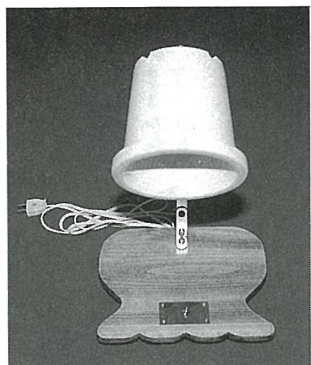




2年3組
椎名伸充君

※タッチセンサ
ー付きのスタ
ンドを作りま
したが、うま
くできたと思
います。

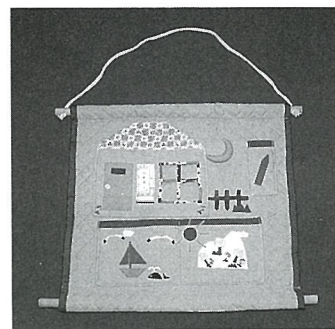


『電気スタンド』

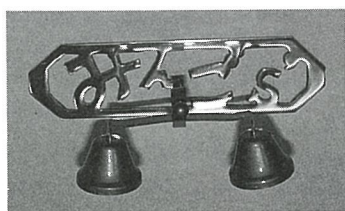


1年2組
竹内里子さん

※窓や鳥が細か
くて大変でし
たが、考えて
いたようにで
きてよかった
です。



『ウォールポケット』

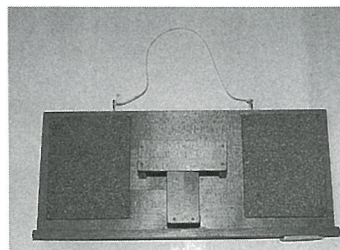


『ドア・エンブレム』



3年2組
川島智美さん

※金属の板をく
りぬく作業が
時間がかかり
とても大変な
力仕事でした。



『ピンナップボード』



1年3組
秋葉真弓さん

※木材をのこぎ
りで切る時や
かんをかける
ところが難
しかったです。



3年3組
越川公雄君

※一枚の布から
作るのは初め
てで不安もあ
りましたが、
作っていくう
ちに楽しくな
りました。

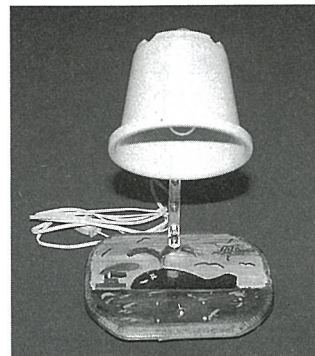


『タンクトップ・ショートパンツ』



2年3組
村上 薫さん

※作るのに苦労
したが、完成
して電気がつ
いた時はうれ
しかったです。



『電気スタンド』

あつまれ みんなの 力作



評者 吟
瞬きの間の一年や去年今年

短評

椎名しげる

初詣り雨に乱る、結みくじ

椎名 静子(二又)

初湯してわがま、通す歳となり

大谷 武彦(木戸)

子らそろふ二人暮らしに初笑

秋山 一泉(野菜)

寒鯉の肝飲み込める顔なりし

川島 孝夫(二又)

切り岸も二日の日差し受けてをり

土屋 義昭(虫生)

指先に息吹きかけて初荷積む

川島 通則(二又)

正月二日の出荷行事の一つ。生産者の一年にける願望と心意気が伝わってくる。

沈黙のあとの歓声初日波

布施喜美雄(二又)

高句句ではあるが「あとの」は説明的。ここは「歓声となる」と詠み替えたい。

袖口の緋色こぼる、春着の子

布施 和代(二又)

初詣に賑わう街頭でのスナップであらう。明るい緋の色は清純な少女の色でもある。

